



日本アマチュア無線連盟



9/2 葛綿杯ボウリング大会



二位 JJ1ONJ 局



優勝 檜戸さん
(JH1PRV XYL)



三位 JE1RLK 局

土浦アマチュア無線クラブニュース 令和5年 10月号

おしらせ

事務局 JH1WGP 大木 武

★ 茨城県支部非常通信訓練 9月1日(金) 20:00~21:50 が実施されました

当クラブセンター局として JR1VG を使用し JJ1VLM 澤村会長が担当しました。周波数は、土浦レピーター局 JR1VG (439.700MHZ) のみで運用し、クラブ員 11 局の方々が参加しました。センター局を含み 12 名の皆さんご苦勞様でした。

★ 9月2日(土) 葛綿杯ナイトボウリング大会が「大学ボウル」にて開催されました

予定は、集合午後 4 時 30 分、スタート午後 5 時でしたが、全員が集合時間には揃っていませんでしたので、早めてのスタート時間となりました。お蔭で 100 円/一人ですが安くなりました。競技者 13 名(見学者 4 名)で JJ1VLM 澤村会長の挨拶後、大会が始まりました。2 ゲームトータルの競いの中、JH1PRV の奥様が優勝されました。おめでとうございます! 2 位 JJ1ONJ 局、3 位 JE1RLK 局でした。尚、競技の皆さんへと下記の方から賞品の寄贈がありました。JF1KZD 池田さんから梨一箱、JG1IIF 林さんからパン詰め合わせ。JA1XVT 関さんからは、ティッシュペーパーを頂きました。有難うございました。総勢 17 名の皆さんご苦勞様でした。

競技参加者: JH1PRV の奥様, JJ1ONJ, JE1RLK, JI1WLL, JG1IIF, JO1LEA, JH1PRV, JH1WGP, JK1OJG, JJ1ATZ, JF1MFE, JA1LIS, JJ1VLM(13 名)

見学者: JA1PBV, JA1XVT, JF1KZD, JG1JLU(4 名)

★ 9月24日 いばらきハムの集いがクラフトシビックホール土浦で行われました

詳細は 11 月号になります

★ 11月の予定

- 11月19日(日) クラブ Fox ハンティング/アイボール会(場所、時間共未定)

Fox: JG1TPW 野尻さん

- 11月25,26日(土、日) 第30回茨城 ARDF 競技大会(県支部主催) 水戸森林公園

非常通信訓練

JF1MFE 久松 満男

9月1日の pm 8 時より県支部の非常通信訓練が有りました。今回は、クラブ会長の JJ1VLM 局が、クラブセンター局を務めて大勢の参加局が有り緊張の中無難に務めたようでした。そんなに難しい事ではないのですが普段通信しない内容で慣れないと緊張して間誤付きます。その様なことが無いようにと訓練です。間違っても内容が通じれば非常のときは助かります。

今回は、VG レピーターを使いましての訓練でクリヤーに出来たと思います。クラブの参加局は 11 局で、その中でも JJ1TMP 千葉さん親子で参加、家族会員の JJ1QPI 千葉智子さんが明解でしっかりと通信が印象に残りました。来年は大学受験と聞いていますが若さか! 又は練習をされたか? 参加されなかった局も、臆せることなく経験を積んで頂ければ、非常時は助かると思います! 時間的にはそんなに掛かりませんので今回は是非参加してみてください。今回は皆さん慣れた方で早めに通信が終わりました。

参加局交信順 JE1RLK JF1KZD JJ1ATZ JH1WGP JE1NVN JJ1QPI
JJ1TMP JF1MFE JG1IIF JN1VVE JQ1QMU

ボウリング大会

JF1MFE 久松 満男

非常通信訓練が終わった次の日9月2日のPM4 ; 30分集合で、土浦大学ボウルにて、葛綿杯ナイトボウリング大会が行われました。今回の参加局は、時間のせいもあるか？参加局が少なかった？ 時間も災いしたか年齢もあるのか皆さん気になる？

当局もクラブでは、結構な年齢で最近ではボウルが重たくて思う様に投げられません。それでも皆さんと一緒に参加で騒ぐのが嫌いではないので毎回色々な行事に参加して楽しんでいます。隣のレーンの局もボウルが重たくて取り換えるかな？こぼしていた当局も1ゲーム目は一生懸命に投げたのですが、おもうようにならず、こぼしていたら2ゲーム目は、両手で投げたらの話で笑いながら真ん



中で踏ん張り何とか投げたら調子が良い。周りで皆さん笑いながら大拍手見栄なんか張ってられない？ 何とかゲームも終了。

表彰式今回は、意外 JH1PRV の奥様、当局の隣のレーンで調子よく投げてるなど思いながら見ていましたが結果は、見事優勝です。こんなこともあるんだ！！

当の JH1PRV は、調子が良くななく？番、勝負は時の運、皆さんも一生懸命に頑張れば結果が出ます。頑張れ！！当局も今回は終わりから3番目、後が良かったです！！

今回も JF1KZD 池田さんからの差し入れで、梨1箱が、最終のじゃんけんゲームで結果は、優勝者が持ち帰りました。お疲れさまでした。チョットしたエピソード！！

*追伸

林さんから頂いたパン詰め合わせは、じゃんけんゲームで JO1LEA 松澤さんがゲットしました。また關さんから頂いたティッシュペーパーは参加賞として全員に配布されました。



皆さん！生き生きとしています。いつも写真を撮ってくれています JA1PBV 伊藤さんは、途中退席されました。

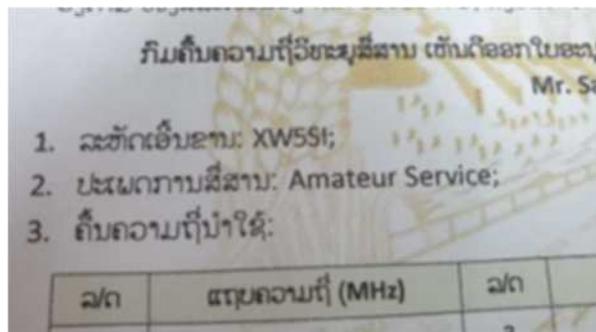
XW5SI 運用記

JA1PBV 伊藤 寧夫

25年前、現役中でしたが長期休暇を利用し、支援団体の一員としてラオスを訪れました。当時は、支援団体の一員としてラオスの地方の医療機関の情報交換のためのVHFによる無線局の設置で評価用に4局設置してきました。現在のようにインターネットが普及し何時でも連絡が取れる状態ではありませんでしたので、非常に有益と評価され、後に300局にも及ぶ医療機関への設置がなされました。現在では、その役目もインターネットに変わり、廃局されています。その時は、アマチュア無線用の設備も持ち込みましたが、個人の時間がなく運用できなかったのが心残りで、今回はぜひとも電波を出したいと意気込んで計画を始めました。ARRLのサイトやインターネットをくぐり、メールアドレスを頼りに何通かのメールを出してみました。エラーで帰っては来ませんでしたが、返信もありませんでした。そんなことで、いつもの通りに現場で何とかなるだろうと無線機一式を準備し、成田を出ました。(無線機と電源は2セット) 2019年2月に帰国して以来、コロナもあり久しぶりの海外旅行でしたので、とても興奮し機内の人となりました。

ラオス到着後、Google Mapを頼りに、役所を探しうろうろしました。最初に行き着いたのは老朽化したビル、すでに転居してしまっていたのですが、隣のビルの表示がそれらしきところだったので入ってみました。しかし、案内もなくうろうろしていると職員とおぼしき方がこられたのでアマチュア無線を運用したいのだが、どこに申請すればよいかと尋ねてみました。偶然にも、その方は日本に2ヵ月間研修で出向いたとの事。その方に持参した何通かの資料(免許の英文証明、無線機の諸元、その他)を預けて宿に戻りました。彼との連絡はSNSのWhatsApp、書類は関係者がチェックしているとの返事をもらい、連絡待ち。その後、再会し書類の問題はないとの事。次に申請先を紹介してもらい、出向いた。宿から15km程の距離にある役所を訪問、窓口の方との打ち合わせを行う。先に渡した書類に問題はなく、申請書類と不足書類を教えてもらい、宿に戻る。書類の作成と不足書類を準備し、再訪する。申請した40m~6mのうち、30mと6mは許可できないと書類上で消されてしまいました。申請には費用が掛かり、受理され決裁された時点で、1バンド

毎に費用が掛かります。決裁が下りたとの連絡があり、最初に出向いた役所に持って来てくれるとの事。早速、待ち合わせて書類を



受け取り、他の建物に移動、三か所の事務処理を経て領収書三枚を入手しました。そして、その受領書をスマホで撮影し、待ち合わせた方にSNSで送付しました。宿に戻ろうとしたときに、SNSを受診、書類を持って来てくれた方から、免許が出来たので。どうするか、、、との連絡あり。タクシーをSNSで呼び出し友好橋近くの役所に出向き、無事、免許を手にすることが出来ました。

担当の方は、日本で2週間の研修を受けたとの事。その点か、私の人徳か、4週間から8週間かかるとの情報を覆し、17日目には免許が手に入りました。

免許を手にするまでの期間、宿代も馬鹿になりません。激安の宿を探しました。しかし、アンテナを張るスペースがありません。一泊食事なしで2千円ほどの宿では無理です。そこで、さらに空き地はないかと散策しました。すぐ近くの空き地に隣接した宿を見つけ料金を確認、リストプライスは、一泊59USD となっています。隣の空き地の使用は何となくOKが出ましたがでも高い、、、現役時代の根切り交渉はお手の物。結局、朝食付きで一泊30USDで握手することが出来ました。建物を貸し切りです。オーナーがフランス人とかで、朝食はばっちりでした。



2 回のベランダに釣り竿とATU、ラジアルを適当に置き、ラジアルは釣り竿の先から空き地を経て道路際のフェンスに着けた釣り竿へと張りました。道路際では、電線を超えるのに通りすがりの方に手伝ってもらいましたが、それ以外は全て自力です。なお、近隣の方や通りすがりの方々共々、私のやることに、全て容認していただけました。運用は、18日から27日まで、、、

3,328QSO、そのほとんどがFT8/4 でした。28日は、21MHz のCW で1局のみ。これが最後でした。メコン川から10m ほどの距離、電線類の束、道路際で車やバイクの往来が多く、Sメータの針は常に9まで触れており、CWの信号はほとんど聞くことができませんでした。その一方でFT 関係の解読には何の影響も感じられませんでした。また、FT系では、TX1からの送信局を優先して選んでいました。

入国依頼、梅雨の時期で連日の雨（弱雨）でしたので、帰国便が29日でしたので前日が晴れていたのですべて撤去し梱包作業にあてました。

帰国を早めようと試みましたが、バンコクからの席が埋め尽くされ変更できず当初の計画通りでの旅となりました。

持ち込んだ主要機材： IC-7300、IC-7000、HC100ATU、釣り竿 (FP) (12m/10m/8m)x3、電源x2、ATU ケーブル、同軸 3 D2V(30m/20m/10m)x3、その他（ロープ、工具、テスト等）

MHz	交信数	Mode	交信数
7	245	CW	17
14	208	FT4	1124
18	586	FT8	2188
21	769		
24	711	JA	1,735
28	810		
総数	3329		



なお、XW5SI_dxcc credit も JA1HGY 間下さん

に助言をいただき済ませています。

【この記事は、CQ誌10月号194ページにも記載されています】

JR1RMS 池田さんが **(CQ 誌 10 月号 157 ページに記載されています)**

ハムフェア 2023 自作品コンテストに入選 (アイデア賞) していました。彼は、9 月号で佐々木さんが選外された記事を見て、当クラブへの資料提供を躊躇していたようでした。

(佐々木氏には当局から話し済) 当局は、ハムフェア会場やガイドブック 8P に記載されていた事も見落としていました。遅ればせながら “**入選おめでとうございます!**”

ハムフェア 2023 自作品コンテストに入賞しました

JR1RMS 池田 孝博

今回、自作の 50MHz ハンディートランシーバーを自作品コンテストに応募しましたところ、**アイデア賞に入賞**しました。

このトランシーバーは、旅行の時などにバッグに詰めて、旅先で地元の局とローカルな話題に話を咲かせたいとの思いから製作したものです。旅の邪魔にならないよう小型軽量にすることを心がけました。

回路的には平凡ですがそれゆえ小型化には苦勞もありました。回路や構造を決める時にはそれが製作可能かどうか、さらにその製作方法や工作の手順も考えなくてはなりません。本機の製作にはプリントパターンを起こさず、いわゆるランド方式で作ってあります。基板を作る手間を省くためと、この方が部品を立体配置して小型化できると考えたからです。

電波型式は SSB、出力 1W、受信部は、高 1 中 2 です。外部アンテナ、外部スピーカーマイク、外部電源も使用可能ですが、旅のお供にと考えたことからロードアンテナを内蔵して、外付け品なしで使用可能です。

ハンディー型ですが超アナログな縦型のダイヤル表示にこだわり、模型用のギヤなどを組み合わせて製作しました。このあたりがアイデア賞のポイントにもなったのかと・・・

まだまだ手直しも必要ですが遊び道具ですから、完璧すぎる今どきのメーカー製とは違った面白味があると思います。また作ることもそののが楽しみでもあり、完成した時の喜びは格別です。そして「自作の 1 点モノ」です。



1 台のトランシーバーを作るとき、私はそのトランシーバーもまた自分を育ててくれるものだと感じています。いつかこれを旅行カバンに忍ばせて、ローカル線の旅に出かけてみたいと思っています。

*写真↑CQ 誌 10 月号 (157P) より抜粋
←後列中央が当局です。

トランシーバー内容紹介は次ページを見て下さい。(次ページは頂いた資料を基に事務局で概要をまとめました)



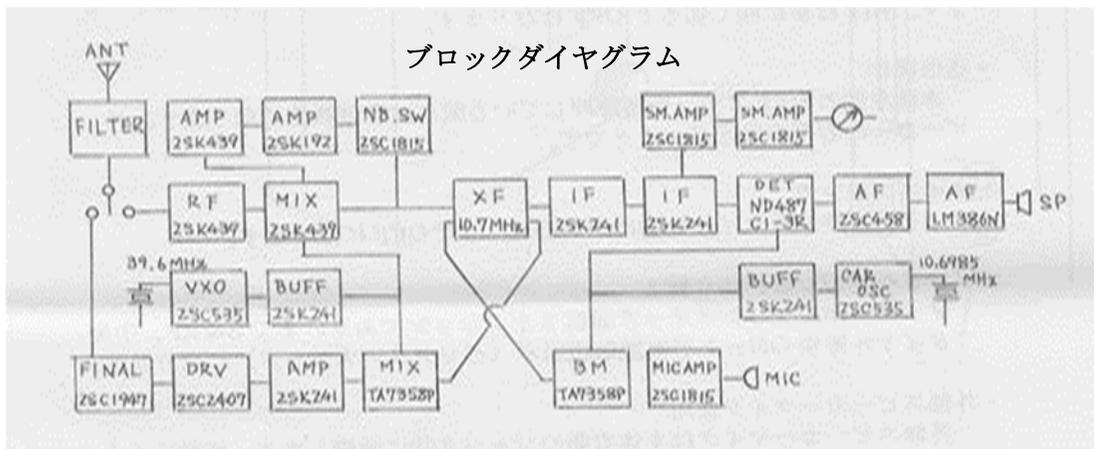
• 50MHz ハンディートランシーバー説明 (概要)

本機の定格

- 送受信周波数 50.170~50.310MHz
- 電波形式 J3E
- 送信出力 1W
- 中間周波数 10.7MHz
- 受信部形式 高1中2 シングルスーパー
- 電源 単三電池 8本 12V
- 消費電流 受信無信号時 50mA
送信時 120mA(無信号時) 500mA(最大)
- 付加回路 RIT、ノイズブランカ、ダイヤル照明
- その他 外部アンテナ、外部電源、外部スピーカマイク使用可能
- 寸法 170(H)×71(W)×37(D) mm
- 重量 520g(本体のみ) 780g(電池含む)



本機の肝となるダイヤル機構
20KΩのポテンショメーターにタミヤの模型用ギアを組み合わせた



工作工程や試作段階などの詳細については、次回に紹介を予定しています。

尚、JR1RMS 池田さんは、入選は今回が初めてではなく 2009 年自作品コンテストの自由部門で、50MHz ポータブルトランシーバーが優秀賞第二席を受賞されています。(2009 年には、当クラブへは、入会されていませんでした)

彼は、50MHz ハンディートランシーバー自作が得意なようですな！

令和5年度前半・活動報告

JJ10GK 千葉 雅仁

コロナ禍で入学から二年間、JA7YCQ アマチュア無線クラブの活動は大幅に縮小されて来ましたが、三年生になって徐々にですが、ようやく本格的に活動出来るようになりました。4月には、ARDF 審判員講習会で知り合った JA7YAA アマチュア無線部の方に誘われて私の学校のそばの、蕃山と言う1時間程度で登れる山で、一緒に移動運用しました。他校の部と一緒に初めて活動出来て嬉しかったです。



7月には学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2023にJARL 宮城支部、JA7YAA アマチュア無線部、JA7YCQ アマチュア無線クラブの合同で参加しました。約10,000人が来場する大きなイベントで、4年ぶりの本格開催となった為に要領が分からない私たちはJARL 宮城支部の方にサポートを受けて、会場(東北大学川内北キャンパス)まで支部長さんの自

家用車で搬出入を手伝って頂きました。

ブース内で私たちは、JA7RL/7の運用サポートを担当しました。

小学生が多数参加してくれた事や、ブース全体としても



サイエンスデイ AWARD2023JRC 創意工夫賞も頂いたので、個人的にも充実して楽しい1日でした。夏休み期間には第64回 ALL ASIAN DX コンテストの為、一旦仙台(学校)へ戻って参加したり特に後半は忙しかったです。これから学期も変わり、三年生の後半戦となるので引き続き部活動を中心にアマチュア無線を頑張ろうと思います。

【各局短信】

このほど9月7日にJL1SUJ 松本さんの奥様が開局されました。

コールサインは、JK1VEHです。開局おめでとうございます！奥様は、当クラブ会報令和4年10月号に載せましたように、eラーニングで勉強し、4アマを一発合格、その後講習会にて3アマを取得し今回の開局になりました。開局に当たりYAESU 991AM (50W)、YAESU FTM6000、ICOM ID-31PLUSの3機種を登録しました。今後の活躍が期待されます。

皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

令和5年度 第 7 号	通巻 575 号	JARL 登録番号 14-1-18
発行日：令和5年 10月 1日	発行者：土浦アマチュア無線クラブ事務局	
オンエア ミーティング：毎週月曜日 PM9:00～ 土浦レピータ (439.70MHz)		